



4月から、臨床シミュレーションセンター(CSC)に配置のメンバーが変わりました。そのためCSCに関する様々な問合せなどが毎日可能です。さらにCSCを多くの皆様に利用していただくために、CSCでは積極的に宣伝をしていきたいと考えました。

そこで、『CSC通信』を3ヶ月に1回程度発行します。どうぞ活用してください。

スタッフ紹介「4月から常駐しているスタッフが変わりました」

センター長から

CSCは設立当初「スキルラボ」と呼ばれ、国内においては先駆的な組織でその後各大学に同様な施設が設置されました。

現在、本学のCSCは他のCSCと比べても引けを取らないハードを所持しています。それをいかに活用していくかが今後の問題ですので、いかにみなさんが利用しやすいように改革していくかを現在模索中です。その第一歩としてCSCの紹介を兼ねてこの『CSC通信』を発行することにしました。現在スタッフは3名ですが、今後皆様のご意見を伺いながら皆さんの学習、臨床をサポートするCSCになりたいと思っています。どうぞ気軽にお立ち寄りください。

臨床シミュレーションセンター長 藤田 智

担当スタッフから

CSCを4月から担当しています。どうぞよろしくお願い致します。配置後はCSCにどのようなシミュレーターがあるのか、利用状況はどの程度なのかと現状の確認をしながら業務をしてきました。そして私たちCSCメンバーは何ができるか考え、4ヶ月が過ぎました。

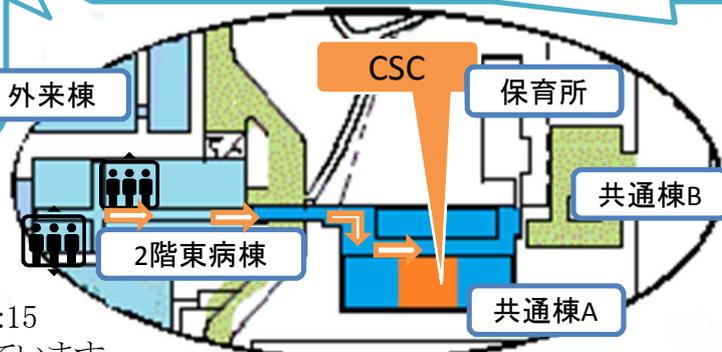
その中で、CSCの事が皆様あまり周知されていないことが分かり、どうしたら学生さんや医師・コメディカルの方々にCSCを活用していただけるか考えています。そのひとつとして『CSC通信』を発行し、皆様からのご意見を聞き、CSCが皆様のお役に立てるよう頑張ります。

萩田真美(8:30~15:30)
小澤和永(15:30~17:15)

臨床シミュレーションセンターはここにあります

東病棟2階の採血室を背にして、心電図・呼吸機能検査のある検査部門を渡りきると、共通棟Aがあります。共通棟Aには CSC のほか緩和ケア診療部・腫瘍センター・卒後臨床研修センター・SPDセンターがあります。

共通棟A から保育所と新しく建った共通棟Bには、救急医学講座・呼吸器センター・感染制御部・医療安全管理部などがあります。



【お問合せ先】

連絡先 : 内線2860 PHS : 7580

E-mail : amcskillslab@gmail.com

センタースタッフ勤務時間 : 平日 8:30~17:15

学内ホームページからも独自ページリングしています

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/simu/AMUSIMU/index.html>

CSC通信では、毎回少しずつおすすめのシミュレーターを紹介していきます。

今回紹介するシミュレーターは、

フィジカルアセスメント トレーニングモデル『フィジコ』です。

演習などにぜひ御活用ください。



●フィジコの3つの学習モード

12人の患者シナリオトレーニングモード (Mode1)

医療の現場で会う12人の患者さんの代表的な訴えを厳選して取り上げられています。実際の患者さんを診るように臨床現場を想定して学ぶことが出来ます。

症状	年齢・性別	疾患
胸が痛い	58 歳男性	心筋梗塞
	55 歳男性	解離性大動脈瘤
	76 歳女性	肺梗塞
お腹が痛い	26 歳女性	イレウス
	19 歳男性	下痢
意識不明	36 歳女性	脳圧亢進状態
息苦しい	84 歳女性	肺炎
	66 歳男性	慢性閉塞性肺疾患
	70 歳男性	肺線維症
	73 歳男性	心不全
	21 歳女性	貧血

任意の患者設定モード (Mode2)

それぞれの手技に応じて、正常状態の他いくつか症例を組み合わせ任意の病状をもつ患者の設定が可能です。シナリオにしたがってパソコンに患者情報を登録すると、フィジコが設定した患者さんを演じます。術後や急変時などといった場面を想定し、状況を作り出すことで、臨場感あふれるシミュレーションを行うことが出来るでしょう。

←このようなシナリオ設定シートがあります。

シナリオ設定のヒントの書かれたパンフレットもあります。→

個別手技トレーニングモード (Skills Training)

■それぞれの診察手技に応じて、症例を確認しながら、測定方法やポイントを繰り返してトレーニングできます。

トレーニング項目
問診・コミュニケーション
眼の視診
血圧測定
脈診
肺音の聴診
心音の聴診
腸音の聴診
心電図シミュレーション



■各トレーニングモードにおける機能の詳細については、次のCSC通信で紹介します。

to be continued